



いっしょに  
ここから  
はじめよう



ピカピカ王国



特殊メガネで  
くまさん探し



## 「みんなで体験！伊奈特キャラバン隊」の 講演会に参加して

令和1年8月31日（土）午後1時半より八千代町図書館にて「伊奈特キャラバン隊」の皆様方による「体験型の講演」が開催された。

副町長さんも参加され、ご挨拶を頂いた。会場は、満員の盛況で、八千代町の皆様方の障がいについての関心の高さを感じた。

今回の講演は①「会話ができないってどういうこと？」②「どんなふうに見えるの？」③「うまくできないって、どんな気持ち？」を疑似体験するものであった。①では、ピカピカ王国に迷い込み「ピカピカ語」がわからない不安やもどかしさを体験するものであった。②ではペットボトルで手作りした特殊メガネを使って、ぬいぐるみを探すものであった。極端に視野が狭くなり、ぬいぐるみをみつけるのに悪戦苦闘する始末であった。③では、大きな手袋をはめて、折り紙をするものであった。折りづらい…なかなか折れない…そして、ついに「サイフ」をおりあげた。思い通りにできない不自由さを知ることにより、不自由な生活を送る人達に、少しは近づけるようなきがしたが…

私は講演を体験して、1年前に発生した北海道の地震による「ブラックアウト」という現象を思い出した。

2ページへ続く

あの時、北海道の人達は一瞬にして光のない真っ暗な世界に入ってしまった、大パニック状態になってしまったのである。もしも、障がいのある方たちの日常生活の中に、あの北海道の出来事のようなことが起こっているとしたら、我々は、もっと障がいのある方たちにやさしい心づかいをすることが大切であると思った。

大きな手袋で  
悪戦苦闘！！



自閉症のお子さんやダウン症のお子さんを育てられた隊員の方の「子育て体験」の紹介があった。「キャラバン隊」の皆様方は一人ひとりのお子様に対して、本当の意味での深いやさしさと愛情を注がれているのだと思った。

”みんなちがってみんないい” 障がいのあるなしではなく、「人間一人一人は本当に尊い存在者であること」を考えさせられた。

「障がいのある人達が暮らしやすい地域は、全ての人に対してやさしくすみやすい地域になる」(キャラバン隊のパンフレットより)は子供たちへの深い愛情と我々に対しての「強いメッセージ」が込められている言葉だと思いました。

自立支援協議会委員 幸田 実 文



「伊奈特キャラバン隊」参加しました。障がいを持っている私は、より深く障がいによりそいたいと思っています。”目を見てやさしく“話かけてあげることが大切だと聞き障がいで大変な思いを抱えていても、分かり合えることはただあるのだなと思いました。優しい気持ちを大切にしたいと思いました。ATさん 文

・障がいのある子の接し方のヒントやポイントを教えて頂き今まで「どうして？」と思っていたことがスッキリしたところがありました。(47歳女性)

・お子さんの実体験の話は感動しました。地域の仲間作りが理解力を深めていることがよくわかりました。(70歳男性)

・障がいのある子を育てている保護者の方々のお話はとても考えさせられた。子どもへの声のかけ方や接し方を今回の講演を活かしていきたいと思いました。(23歳男性) (講演会アンケートより)

# 「第6回集おう、おしゃべりしよう！」報告

れいわがねん がつ にち じ ぶん やちよまちとしょかん つど かいさい  
令和元年11月2日（土）1時30分より八千代町図書館にて集いを開催しました。

こんかい はじ えいがかんしょう きんせい さくひん み さくひん ねんせい  
今回は初めての映画鑑賞で「金星」という作品を見ました。この作品は2011年制  
さく どうきょう しもきたざわ たんべんえいがかん どうきょう せんもんがっこう  
作。東京・下北沢の短編映画館トリウッドと東京ビジュアルアーツという専門学校  
きょうどうせいさく げんえきがくせい きかく せいさく せんてん たんどう しかくしょうがい も  
の共同制作で、現役学生が企画から制作、宣伝までを担当した。視覚障害を持つ  
しょうねん しょうじょ しえんしゃ いっぽんだいがくせい あいだ なや かっとう か  
少年と少女、支援者、一般大学生の間でおこる、悩みや葛藤を描いています。

## 映画への参加者の感想から

としごろ かた たいおう かんが  
・年頃の方への対応を考えさせられた。

だれ かんしゃ ことば い  
・誰でも感謝の言葉を言えるように。



きんせい い み おも み いただ なにこと む あ  
・「金星」ってどんな意味なんだろう？と思いながら見せて頂き、何事にも向き合うこ  
とで勇気や希望がさらに生まれるんだなあ...と思わされました。

て わたしじしん い き おお き  
・”手をかけすぎる”のシーンに私自身に言われてるような気がして大きな気づきをい  
ただきました。子ども自身もやがて大人になることをきちんと心にとめ、子の人格を  
たいせつ ひと あいさつ ひと だいじ ところ そだ  
大切にし、いまは人にやさしくすること、挨拶をすることなど、人として大事な心が育  
つてくれるよう愛情を注ぎ、育てていきたいと思えます。

## 集いへの要望



ひく つど し あ つく すす  
・ハードルの低い集いや知り合い作りを進めたい。

せんばい おやご はなしあ きかい も  
・先輩の親御さんとお話合いの機会を持ってほしい。

なかなか えいが み きかい えいがかい  
・中々ゆっくり映画を見る機会がないので、また映画会をや  
ってほしい。

おおしあ や こ しかくしょう しゃ  
・大石亜矢子さん（視覚障がい者、シンガーソングライター）  
のコンサートを開催してほしい。

## 次回「第7回 集おう、おしゃべりしよう！！」

にち じ れいわ ねん がつ にち ど  
日 時 令和2年3月7日（土）1：30～3：30  
ば しょ のうそんかんきょうかいぜん やちよまちすげのや  
場 所 農村環境改善センター（八千代町菅谷898-157）  
ない よう たからさがし・おしゃべり  
内 容  
さんかひ えん ほけん の ものだい  
参加費 100円（保険・飲み物代）  
もうしこみさき やちよまちふくしか  
申込み先 八千代町福祉課

T E L 0296-49-3941

F A X 0296-48-4371

※または窓口で

参加者募集

# 知ってた？その2 —事業所紹介—

やちよまち かいごしせつたまき しんたい ちてき しょう  
 八千代町の介護施設玉樹さんでは、身体・知的に障がいがあつて、なかなか入浴することができない方に、入浴のサービスを提供しています。



じぎょうしょめい とうくべつようごろうじん たまき  
**事業所名** 特別養護老人ホーム 玉樹

じゅうしょ やちよまちすげのや  
**住所・TEL** 八千代町菅谷1021-1 0296-49-3886

めいしょう やちよまちちいきせいかつしえんじぎょう にちちゅういちじしえん  
**サービス名称** 八千代町地域生活支援事業・日中一時支援

じぎょう ないよう にちちゅういちじしえん  
**事業・内容** 日帰りでレクリエーション・入浴・昼食  
 (特殊機械浴もあります)

たいしょう しんたいしょう ちてきしょう しょう しゃてちよう  
**対象** 身体障がい知的障がいがあり障がい者手帳をもっている方で八千代町に「日中一時支援」の申請をして、決定通知を受けている方



# あけましておめでとうございます

今年も八千代福祉  
 ナビにアクセ  
 ス！！

## 編集後記

あけましておめでとうございます。  
 「ここだより」が第7号の発行を迎えました。講演会や集いのお知らせ・報告、八千代町の福祉サービス事業所の紹介などを通じて、地域の皆様と障がいのある子供から高齢者の間を繋いでいかれたらと願っています。  
 欲しい情報、こんなことができたらいいな！、ここだよりのご感想など皆様の「ここだより」への参加をお待ちしております。



発行所：八千代町地域自立支援協議会  
 発行日：令和2年1月15日  
 問合せ：八千代町保健福祉部福祉課 障がい福祉係  
 TEL 0296-49-3941

八千代町地域自立支援協議会は、誰もが暮らしやすい地域社会を作るために、悩みのある人や困っている人、地域の人、みんなが話し合い、共に考え行動することを目的としています